

株式会社ホーナンドー ビジネスイーブレン・PRINT MANAGER

営業担当、得意先ごとの数値を可視化
即時に集計、行動判断につなげる

株式会社ホーナンドー（大阪市中央区／工藤裕介社長）は、株式会社ビジネスイーブレンの印刷業務・経営支援システム『PRINT MANAGER（P-MAN／販売元・株式会社モトヤ）』で集計した経営数値を分析し、行動判断につなげている。

同社は 2007 年、株式会社ホーナンドーから社名を変更した株式会社シーレップの印刷部門が会社分割して設立。大阪・東京の両本社制を敷き、主に同業者を得意先としてシーレップグループの印刷事業を担っている。環境負荷低減にも積極的で、二酸化炭素排出量の削減、脱プラ製品の開発・製造、水なし印刷による廃棄物排出量や水使用量の削減などに取り組んでいる。

印刷設備は菊全判両面 8 色機、菊全判片面 4 色機、同 2 色両面兼用機、菊四裁 4 色機。品質要求レベルが高い医薬系、化粧品、金融、学校の販促資材を中心に、24 時間稼働で同業者から受託製造を引き受けている。

P - MAN の導入前の基幹系業務システムは売上や粗利の集計ができたが、案件ごとや得意先ごとの数値が算出できず、行動判断に必要となる資料は手作業で集計されていた。加えて紙の斤量や予備紙の枚数、面付の方法などが分からなければ受注情報の入力ができず、印刷の知識に乏しい新入社員が扱うにはオペレーションが難しかった。

同社の工藤裕介社長は、「集計資料が出た時点で力尽きて、その後、行動に結びつく判断につなげられていませんでした。本当に収益が出ているか、営業の労力がそれに見合うものなのか、集計資料を瞬時に取り出せるシステムが欲しかったのです」と P-MAN 導入の動機を語る。

導入に当たっては、社員の意見をすり合わせて、システムのカスタマイズに反映させる作業や、用紙の価格、社内原価などマスターの登録、作業指示書や作業予定表などの帳票フォームの改善などに時間を要したものの、受注情報の入力に特別なスキルを必要とせず、システム完成後はスムーズに運用できている。また、現在の新型コロナウイルス感染症対策として、営業支援担当者が自宅で P-MAN から作業指示書などを生成するなど、一部でリモートワークの実現にも寄与した。

実際原価の把握から行動を変える

P - MAN の導入後は売上目標、受注金額、粗利に対する営業経費などが得意先ごとに瞬時に集計が可能になった。営業担当者別でも、売上予算、売上、粗利、粗利率、前年比、予算比、昨対件数、一件当たりの売上単価、粗利単価などが可視化でき、数字をもとに行動に移しやすくなっている。

P-MAM で管理している得意先情報には、トピックスとして主要商品や注意点などが入力

されており、担当者が変わった際の引き継ぎに活用されている。そのほか、協力会社情報にはそれぞれの得意分野や横持ち対応の有無が記載されるなど、社内の情報共有でも有効に機能にしている。

標準原価と実際原価の差も把握しやすくなった。製造部門では作業の着手・完了時間、作業実績から自動的に実際原価が計上される。例えば予定していたインクジェット校正紙が1枚少なくなれば、実際原価が下がる。機械別の売上や原価、利益も集計でき、「今までは月次の数字が出た時点で1週間、2週間が過ぎてしまって、対策が次月に回ることもありました。そのタイムラグが縮まったことで、営業部門の本当の収益、製造部門の本当の収益から、会社として本当に儲かっているのかが確認できています。また、問題があった時にどうカバーできるのか、お客様に相談できることがあるのかを考えて、すくに行動に移せるようになりました」と効果が表れている。

生産管理部門では、印刷機ごとの標準時間、準備時間、時間当たりの生産枚数などから、自動的に生産予定を立てている。そこから生産管理担当者が、立ち合い印刷の時間などを入力し、微調整して予定を組み上げる。従来は手作業で時間を入力し、印刷機ごとの生産時間を算出していたが、今では印刷機ごとに生産情報がグラフで可視化されたほか、1つの案件に対して2日間に渡って印刷する場合でも生産時間を容易に算出。営業担当者はグラフを見れば、受注した案件がいつ生産予定に入れられるかを把握できるとともに、予定が入らない時に外注すべきかの判断がしやすくなった。

工藤社長はP-MANの今後の運用について、「あまり自動化し過ぎると何らかのトラブル時に対応策が考えられなくなる恐れがあります。社員に教えて、育てるためには普段の業務の中から覚えこませることが必要です」と、JDF連携などによる自動化に頼らず社員個々の業務スキルアップに重きを置く。その基盤としての情報システムとしてP-MANを位置づけ、着実に社内基盤を整えていく。

株式会社ホーナンドー

大阪本社：大阪府大阪市中央区南本町1-8-14 堺筋本町ビル5F

<https://honando.net>

【システムの問い合わせ先】

株式会社ビジネスイーブレーション

TEL 084-973-7677

<http://www.p-man.info>

株式会社モトヤ

TEL 06-6261-1931（大阪）

TEL 03-3523-8711（東京）

<https://www.motoya.co.jp>